
Internet Week 2008

IPv4枯渇パネル



ソフトバンクBB株式会社
ソフトバンクテレコム株式会社
ソフトバンクモバイル株式会社

技術統括
ネットワーク本部

牧園 啓市

Table of Contents

- これまでとこれからの取り組み
- コストの課題
- IPv6移行とサービス提供の課題
- 業界内の課題

SBグループの取り組み～これまで～

ULTINA.
Internet

2002年4月より
商用IPv6サービス開始

YAHOO! BB
JAPAN Broadband

2004年7月より
IPv6サービス開始

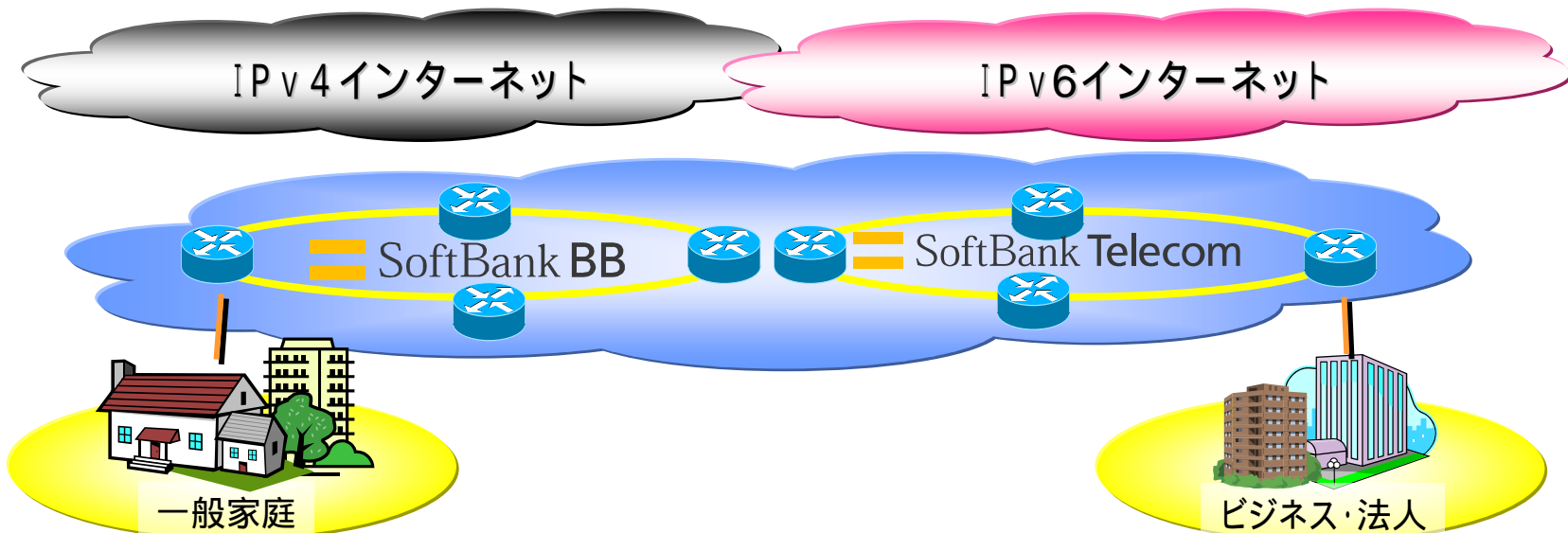
mpls ASSOCIO

mplsASSOCIO経由4725v6
2007年4月より商用サービス開始



商用サービス開始以来、ノウハウを蓄積

SBグループの取り組み～これから～



コンテンツ
配信

BBサービス

公衆無線
LAN

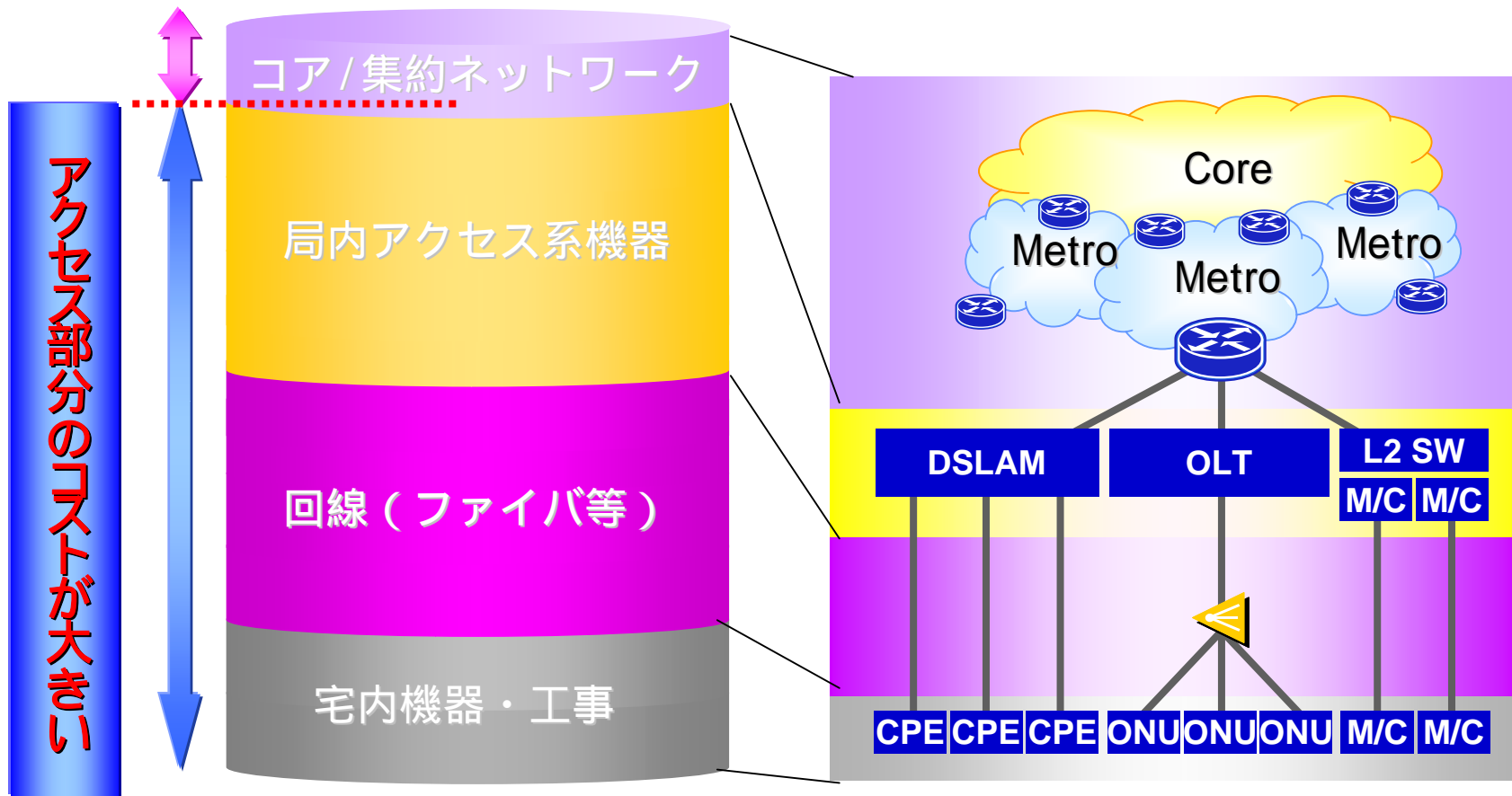
IP電話

法人NW
サービス

ユーザー
サービス

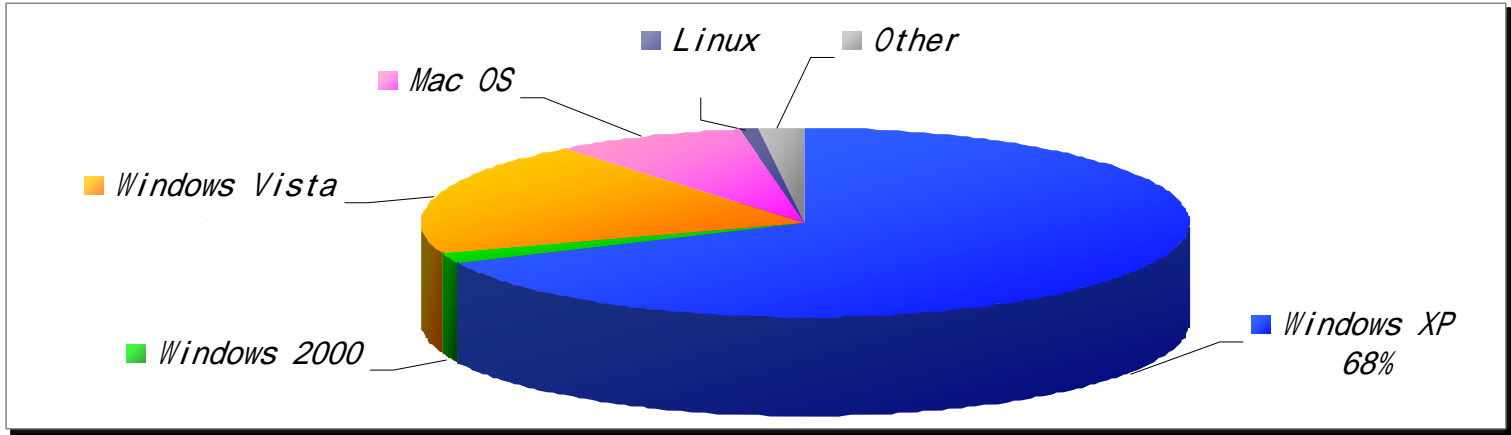
サービス別・ユーザ別にIPv6対応を準備中

ネットワーク構造とコスト配分の関係

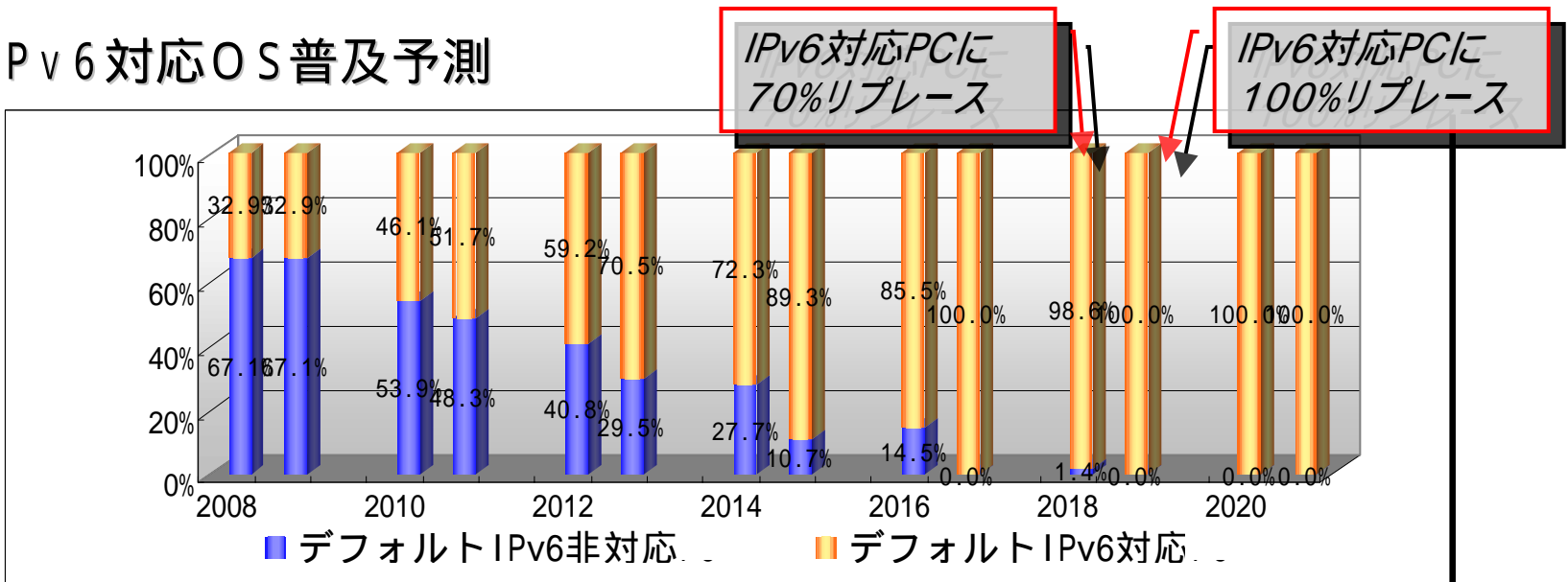


移行タイミング ~IPv6レディPC~

■ 一般ユーザが利用するOSの分布

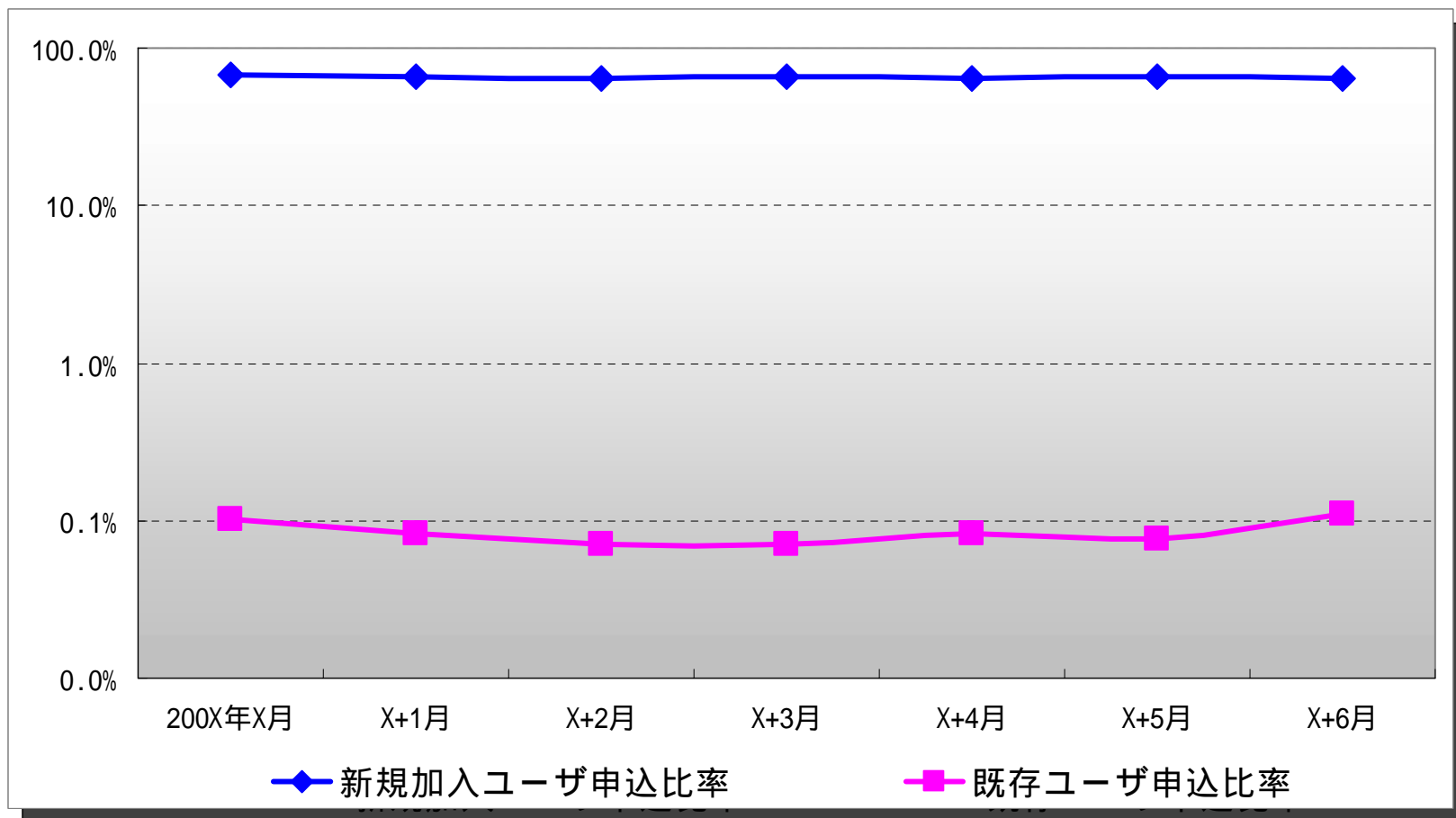


■ IPv6対応OS普及予測



付加サービス申込みタイミング ~いつ使われる?~ SoftBank

YahooBBの付加サービスの申込タイミング比率 (新規ユーザ vs 既存ユーザ)

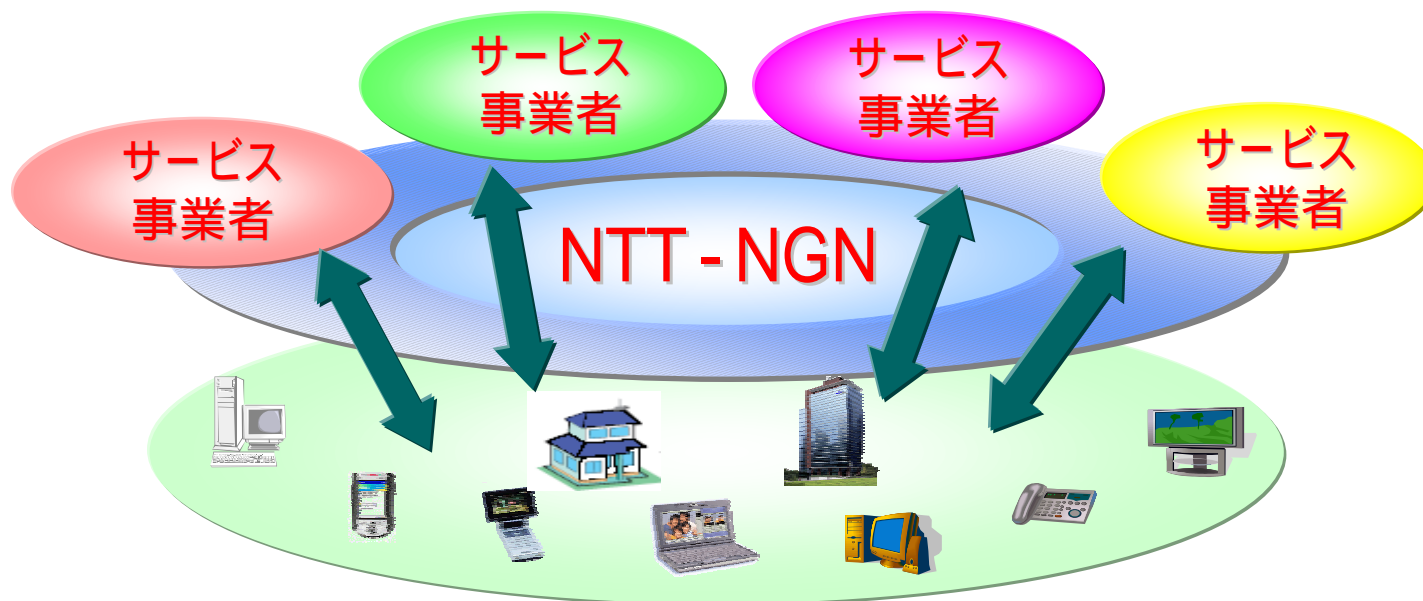


- ・上位サービス、端末含めた新規サービスの可能性
- ・利用ユーザーの利便性
- ・法制度及び競争環境という観点
- ・構築にあたってのコストとその負担
- ・国際標準化動向
- ・ISPの事業構造との適合性

IPv6インターネット接続サービス提供時のアクセス網事業者とISP事業者の連携モデル

	方式内容			備考
	概要	L3の扱い	アドレス割当て	
モデル0	ISPが、アクセス網事業者からL2以下を購入したり自前でL2以下を構築し、自前でL3網を構築。	L3についてはISPが自前で持つ方式	ISPが直接エンドユーザーにIPアドレスを割り当てる	
モデル1 (案1)	ISPがアクセス網事業者のNGN網の上でトンネルを構築する方式	L3についてはISPにまかせる方式	ISPが直接エンドユーザーにIPアドレスを割り当てる	HGWの共通化が課題
モデル2 (案2)	アクセス網事業者が、ISPに対し、トンネルを提供する方式	アクセス網事業者がL2でトンネルを提供するか、L3で提供するかで異なる。	同左	
モデル3 (案3)	ISPが、アクセス網事業者に、L3についてまかせる方式	L3についてはアクセス網事業者にまかせる方式	アクセス網事業者のIPアドレスを、アクセス網事業者がエンドユーザーに割り当てる	

公正な競争環境と利用者の利便性に配慮した環境を全国規模で提供する社会基盤的役割



- サービス事業者が保有するIPv6アドレスをNGN網上で顧客に提供できる仕組み
- サービス事業者がNGN網内の品質制御が行える仕組み

Thank you!

